

産学連携セミナー

～革新的創薬にむけた共同研究の可能性～

謹啓

秋冷の候、皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、このたび筑波大学・中外製薬株式会社共催にてお互いの研究成果を発表し革新的抗体医薬品の創製にむけた共同研究の可能性を探るセミナーを企画いたしました。近年の医療において、アンメットメディカルニーズに応える革新的治療・医薬品の開発は強く望まれており、研究シーズの早期実用化を推進する機会になるものと考えております。お忙しい中とは存じますが、何卒ご出席賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

日 時：平成 25 年 11 月 25 日（月） 17:00～19:00

会 場：健康医科学イノベーション棟 1 階 105

- <開会挨拶> 筑波大学附属病院 病院長 五十嵐 徹也 先生
中外製薬株式会社 東京第二支店 統轄支店長 名倉 正仁
<司会進行> 筑波大学附属病院 病院長 五十嵐 徹也 先生

《Topic 提供：筑波大学》

- 17:05～17:20 「**Bevacizumab** の基礎研究から治験・臨床応用の経験について」
医学医療系 外科学（脳神経） 松村 明 先生
- 17:20～17:35 「免疫受容体を標的とした疾患制御」
医学医療系 免疫学 渋谷 彰 先生
- 17:35～17:50 「自己免疫疾患における抗体療法：現状と展望」
医学医療系 内科学（膠原病・リウマチ・アレルギー） 住田 孝之 先生

《研究紹介：中外製薬》

- 17:50～19:00 「進化を続ける抗体医薬創製技術」
中外製薬株式会社 研究本部 探索研究部長 服部 有宏

共催 筑波大学附属病院/中外製薬株式会社